



横浜市立田奈小学校
学校だより

平成29年 1月31日

2月号



みのたなくん

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tana>

校長 二瓶 光代
TEL 045-981-0009

苦しい、でも・・・やる

校長 二瓶 光代

冬休みが終わり、学校が始まって2日目、数十人の子ども達が朝早くから校庭に集まっています。体力向上や「よこはま国際ちびっこ駅伝」の出場に向けて、冬休みの前後、3年生以上の子ども達が早朝練習に来ているのです。子ども達は体を温める運動を十分行った後、自分のペースで校庭を走ります。

この冬一番の大寒波の最中、校庭は、スケートリンクのような冷たい空気に包まれていました。息を吸うと鼻の奥がツンと痛くなり、たくさん空気をすいこむことをためらってしまうほどでした。走っていて息が苦しくなったことがある人も多いと思います。走り終えて呼吸を整えながらこちらに歩いてくる子ども達に、「よくがんばった。苦しくならなかった？」

と、声をかけていると

「苦しい、でも（朝練は）やる。」

という、答えが返ってきました。「苦しかったけど、次回の朝練にも必ず来る。」と自分に向かって言い聞かせているようにも見えました。この子は、これまでのいろいろな経験の中で、助言を受けたり、自分で考えたりしてきた結果、この早朝練習について「苦しい。でも、やる。」と判断しているのです。集団の中で一番小さい学年である3年生、わずか9歳で、困難に立ち向かう道を選択していたのです。

「朝練、楽しい。」

と、つぶやいた子もいます。その子は、火・木曜日にこの早朝練習に参加し、月・水・金曜日はトランペット鼓笛隊の朝練に参加しています。そして、この寒さの中、何人もの子が首筋や額にすがすがしい汗をかいていました。田奈の田んぼに降りた霜が、朝日に照らされてキラキラと輝き、それはそれは美しいのと同じ様に、子ども達は美しくキラキラと輝いていました。

重点登校指導期間中のこの時期、職員が朝練に対応できるように交通安全協会田奈支部と青葉台支部の方々には多大なるご協力をいただきました。お陰様で、子ども達が自分を高めていけるような支援をすることができました。ありがとうございました。